

第67回 北海道文化集会 in 函館

—次世代につなげる つながる 未来への扉

令和7年11月9日(日)

13:00～16:00

函館市芸術ホール [ハーモニー五稜郭]

(函館市五稜郭町37番8号)

主催／北海道文化団体協議会

主管／函館市文化団体協議会

共催／函館市教育委員会、公益財団法人北海道文化財団

公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

後援／北海道、函館市、渡島地方文化団体連絡協議会



北海道文化集会とは…

北海道の地域文化の伝承・創造・発展を議論する場として、1959（昭和34）年に第1回を札幌で開催。北海道放送（HBC）による実況中継も行われました。当時は「文化」の価値を高める社会運動が盛んで、北海道各地での集会に多くの文化人たちが集いました。

函館では過去、1972（昭和47）年と1990（平成2）年に開催されており、今回は35年ぶり3回目の開催となります。

未来の函館の文化について、ともに考えてみませんか？

関連事業

第7回「こどもアール・ブリュット 北海道みらい作品展」移動展

札幌文化芸術交流センターSCARTSで開催（8/15～8/17）した本展の入賞作品と、中国黒龍江省の児童作品を展示。

◆【会場】**函館市芸術ホール 地階・ギャラリー**
（函館市五稜郭町37-8）

【会期】10月30日（木）～11月3日（月・祝）
10:00～18:00（最終日16時まで）

【同時開催】令和7年度 函館市民文化祭
函館市文化団体協議会
「清秋・函館市文団協芸術展」

◆【会場】**グランディールイチイ 2 階**
（函館市美原1丁目3番1号）

【会期】11月5日（水）～11月9日（日）
10:00～20:00

—お問い合わせ—

北海道文化団体協議会

TEL 011-211-8633 FAX 011-211-8644
mail: bundankyo@msj.biglobe.ne.jp
HP <https://hk.bundankyo.com>



北海道文団協HP



式典 13:00～13:30

開式の言葉	函館市文化団体協議会会長 宮崎 加奈古
主催者挨拶	北海道文化団体協議会会長 下沢 敏也
来賓祝辞	北海道知事 鈴木 直道
歓迎挨拶	函館市長 大泉 潤
表彰式	北海道文化団体協議会各賞
閉式の言葉	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団理事長 西田 正史

文化フォーラム 13:40～14:50

「わたくしたちは、北海道の文化発祥の地、函館に住む市民です。」—函館市民憲章（前文）—
北海道の中でもいち早く港が開けたことから、西洋文化の種がたくさん落とされ、異国情緒あふれる美しい街並みが築かれた函館。まちに魅了されて人々が集い、多様な気風や精神が交わり、大らかに新しい文化を取り入れてきた歴史があります。そこから繋がる今、文化がまちの未来にどのように関わっていくのか、ハコダテに生きる魅力とは何か、様々な視点からトークします。



パネリスト 辻 俊行（北海道立函館美術館 館長）

小・中学校の教員、道教委職員を経て、函館市教育委員会教育長を2期務める。現在は道立函館美術館の館長として多彩な展覧会を企画運営するとともに、美術館の文化開放にも尽力。落語や松前神楽の実施のほか、コンサートには自らもギターで出演。函館・札幌でソロギターや弾き語りのライブ活動を行っており、You Tubeチャンネルも開設。教育長時代には、函館市内の新設校の校歌を作詞作曲。函館市内の様々な文化団体の理事を務めている。



パネリスト ^{ハブ}土生 明弘（函館市教育委員会 生涯学習部長）

1973年札幌市生まれ。北海道伊達緑丘高校、北海道教育大学函館校教育学部卒業。2000年、函館市役所へ入庁後、企業局、総務部行政改革課、総務部人事課、総務部次長を経て、2024年4月から現職。生きがいを創り出す生涯学習の推進、心の豊かさを育む文化芸術の振興および健やかな心身を育むスポーツの振興を目指し、各種施策のマネジメントに取り組んでいる。特技はパレーボール。趣味は家族とのキャンプ・釣りなどのアウトドア活動。



パネリスト ^{ユカリ}佐々木 紫（FMいるか）

函館市出身。大学で日本文学を専攻し、卒業後は函館山ロープウェイ（株）FMいるかに入局。以降、パーソナリティーとして、トーク番組や情報番組などを担当。また、各種イベント、演奏会、講演会、フォーラムなどに、司会・コーディネーター・パネリストとして参加。現在は、平日午前の「オトノハにのせて」（10:00～13:00、月～木）、中継車から街の話題をレポートする「いるか号中継」（不定期）を担当している。



コーディネーター 岩尾 亮（札幌）

学生時代より演劇を始め、以後、俳優として北海道文化財団演劇事業、劇団イナダ組など札幌での活動の他、東京公演、ソウル公演など数多くの舞台に参加。また、専門学校での俳優の育成やプロデュース公演等での劇作・演出も行っている。他、ナレーター、ラジオパーソナリティなど、活動は多岐にわたる。

アートステージ 15:00~16:00

函館からお送りするステージは、これからの未来の扉を開け、歩み出していく10代のアーティストたちが中心です。それぞれレッスンを積んできた今のエネルギーを表現し合い共演するステージです。私たち指導者は、原石である彼ら彼女らに表現する場を与え、私たちの指導の下、文化・芸術の楽しさを存分に味わって貰いたいと考えております。また、文団協として後継者を育てていかなければならない現実を受け止め、若いパフォーマーの未来に文化・芸術があることを願った舞台にしたいと思います。



＊ 函館市文団協60周年記念公演Kai響から ＊

【島聖子音楽教室】

(主宰 島聖子 函館音楽協会)

大川陽由 (函館市立湯川小学校5年)

2024年4月より声楽を島聖子に師事。

2025カワイウタのコンクール北海道大会小学校3・4年コース金賞受賞。

【後町久子音楽教室】

(主宰 後町久子 函館音楽協会)

川合快步 (函館中部高等学校2年) 3歳よりヤマハ音楽教室にてピアノを始める。

後町久子、濱田典子に師事。【JPTA ピアノ・オーディション全国大会】24年度C部門優良賞。北海道ショパン学生ピアノコンクール、全日本学生音楽コンクール北海道大会他で多数入賞。

【山本和生音楽教室】

(主宰 山本和生 函館音楽協会)

水上泰希 (市立函館高校3年) 中学3年より作曲家を志し高校1年より和声・ピアノを山本和生に師事。小学3年より吹奏楽部で打楽器を始め、中学でTBSこども音楽コンクール文部科学大臣賞等様々受賞。現在市立函館高校吹奏楽局在籍。今回、自作曲「楓葉荻花」を管弦打楽器による小編成で初演する。

演奏：市立函館高校吹奏楽局有志(函館地区吹奏楽連盟)

【岡島緑バレエスタジオ】

(主宰 岡島緑 (公社)日本バレエ協会正会員)

高谷梨杏 (函館遺愛女子高等学校2年) 6歳より岡島緑バレエスタジオに所属。バレエを岡島緑に師事。

2025年日本バレエ協会北海道支部コンクール創作部門 最優秀賞受賞。他小松崎萌・吉田詩織、複数のバレエコンクールに参加。

【R dance company】

(主宰 山崎理恵 (一社)北海道ダンスプロジェクト正会員)

小松日菜子 6歳よりDANCEを山崎理恵に師事する。他吉田花菜6歳、浅井聖乃9歳、木村絢音4歳、池田陽葵12歳よりR dance companyに所属し山崎理恵に師事。

2024年創立25周年公演「JOMON」他多くの舞台に出演。小松秋菜：R dance company振付担当

【正派若柳流 寿会】

(主宰 若柳吉和浩 正派若柳流若柳会会員・函館邦楽舞踊協会)

若柳紗々 (函館遺愛女子高等学校2年) 本名 時兼紗英 3歳より若柳吉和浩に師事。2023年3月に東京正派若柳流より『若柳紗々』の名前を許される。2024年 弧の会日本舞踊公演「コノカイズム」弧の会ジュニア育成プロジェクトVol.3(浅草公会堂)に出演。

閉会 16:00